

平成30年6月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

輸出額は「科学光学機器」などは減少したものの、「鉱物性タール及び粗製薬品」、「有機化合物」などが増加したことから、対前年同月比 9.8%の増加となった。また、輸入額は「石油製品」などは減少したものの、「原油及び粗油」、「半導体等電子部品」などが増加したことから、同 42.9%の増加となった。  
これにより差引額は、567億円の輸入超過となった。

区 分	輸 出 額	伸 率	輸 入 額	伸 率	差引額（▲は輸入超過）	伸 率
四日市港	680億円	+9.8%	1,247億円	+42.9%	▲567億円	+123.8%
	2ヵ月連続の増加		3ヵ月連続の増加			

			概 況 品 名	金 額	伸 率				概 況 品 名	金 額	伸 率
輸 出	増加品目	( 1 )	鉱物性タール及び粗製薬品	48億円	+224. 1%	輸 入	増加品目	( 1 )	原油及び粗油	675億円	+141. 6%
		( 2 )	有機化合物	67億円	+72. 8%			( 2 )	半導体等電子部品	19億円	+237. 3%
		( 3 )	自動車の部分品	54億円	+30. 2%			( 3 )	液化天然ガス	187億円	+2. 5%
	減少品目	( 1 )	科学光学機器	14億円	▲63. 0%		減少品目	( 1 )	石油製品	62億円	▲23. 3%
		( 2 )	半導体等電子部品	14億円	▲39. 6%			( 2 )	生ゴム	19億円	▲31. 8%
		( 3 )	音響・映像機器の部分品	—	全減			( 3 )	その他の採油用種子	2億円	▲73. 3%
	地域別動 向		増加：アジア、西欧 など 減少：中東欧・ロシア等 など				地域別動 向		増加：中東、中東欧・ロシア等 など 減少：大洋州 など		

（参考）ドルレートは、109.86円（前年同月比0.9%、1.05円の円高）であった。  
（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。  
（注）本資料中の伸率及び増減表記は、前年同月との比較による。